

タルニ外ナラス之ヲ要スルニ縣會ノ争フ所ノモノハ縣令行政上ノ處分ニ過キスシテ縣會ノ議決ニ關係ナキモノナリ法制局ハ府縣會規則第九條ニ依リ府知事縣令ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ争フモノヲ裁定スル所ナルヲ以テ本件ノ如キハ法制局ノ裁定ヲ請フヘキモノニ非ス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ法制局裁定ノ限ニ在ラス

明治十九年二月二十六日

- |       |        |      |
|-------|--------|------|
| 審理委員長 | 法制局長官  | 山尾庸三 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 周布公平 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 廣瀬進一 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 木下周一 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 牧野伸顯 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 廣橋賢光 |

第二百三十三 廳舍移轉ノ件

審理委員 法制局參事官 小池靖一

栃木縣知事 樺山資雄  
栃木縣會議長 田中正造

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ明治十七年中栃木縣廳舍移轉ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ争ヒ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

本年ノ通常縣會ニ於テ定規ニヨリ明治十七年度ノ決算報告ヲ受ルニ當リ其雜收入ノ目中議會カ見認メテ正當ナル收支方法ト爲ス能ハサル者アルヲ發見セリ依テ縣知事代理ニ對シ其辨明ヲ要メタルモ遂ニ疑義ヲ解クニ足ラス結局議會ト知事トノ間法律ノ見解ヲ異ニシ權限ノ牴觸スルモノアルヲ以テ左ニ事由ヲ具シテ裁定ヲ仰クニ至レリ  
去ル明治十七年栃木縣廳ヲ栃木ヨリ宇都宮ニ移スニ當リ前縣令三島通庸カ其建物ヲ金六千圓ニ拂下ケタルハ縣民ノ普ク知ル所ナルカ故ニ其金額ハ定メテ雜收入中ニ組込レ

○裁定

タル儀ト豫期シタルニ今年報告ヲ受ケタル決算書雜收入ノ目中此金額ヲ見サルニヨリ  
之ヲ縣知事代理ニ質問シタルニ其答辨ノ大要左ノ如シ

舊縣廳建物ノ材料ヲ新廳ノ建築ニ移用セント欲シ之ヲ取毀ダントスルニ際シ栃木町人民  
ヨリ舊建物ノ拂下ヲ請ヒ其代リトシテ新廳用材ノ木石ヲ納メント申出タルニヨリ之ヲ採  
用シタルカ其代價金六千圓ナリ此ノ如ク物品ヲ交換シタルハ行政上ノ處分ニシテ之ヲ通  
貨ニ替ヘサリシカ故ニ之ヲ雜收入中ニ組込マヌ又々議會ニ報告スヘキ限リニアラスト  
以上ノ辯明ニ對シ議會ノ満足スル能ハサル要點ヲ擧ン

第一 縣知事ハ公ケノ財産ヲ人民ト相對交換スルノ權利ナシ故ニ地方經濟ニ屬スル  
縣有財産ヲ交換シタリト云フハ制度ニ違ヒ議會ノ權利ヲ犯シタルモノナリ

第二 縣知事ノ處分ハ物品ノ交換ニアラスシテ純然タル舊建物ノ賣却及ヒ新用材ノ  
購買タリ

此二箇ノ理由ヲ詳説センニ決算報告書中ニ雜收入ノ目アル所以ノ者ハ縣有財産ヲ賣却  
シテ得ル所ノモノハ之ヲ收入ニ組込ミ買入ル、モノ之ヲ支出トシ出入ノ數ヲ明ニスル

ニ在リ此ノ如クニシテ收支初メテ整然タルヲ得ヘシ若シ物品ヲ物品ト交換シ得ルトセ  
ハ唯建物ノミナラス地方稅ヨリ得タル一切ノ財産モ亦々皆新舊交換シ得ルノ結果ヲ生  
スヘク其極雜收入ト稱スル者ハ全ク之レ無キニ至ラン果シテ然ラハ毎年議會カ議定ス  
ル所ノ地方諸費ハ半ハ、之ヲ議定スルヲ要セス縣知事ノ獨斷ヲ以テ舊物ヲ隨意ニ人民  
ニ交付シ其代品ヲ人民ヨリ納レシメ議會ハ此交換ニテ足ラサル所ノ補充金ヲ議スルニ  
止マリ其他ハ縣知事ノ隨意處分ニ歸スルニ至ラン

政府既ニ府縣會規則ヲ以テ地方稅ノ收支ヲ議會ニ決セシメ地方稅規則ヲ以テ其議スヘ  
キノ費目ヲ定メラル然ラハ此等規則ノ精神ヲ實際ニ無効ナラシムルノ權力ヲ行政官ニ  
許サ、ルモ亦明知スヘシ而シテ物品交換ノ一事ハ實際ニ此兩則ノ精神ヲ無効ニスルモ  
ノナリ且現今ノ會計法中公ケノ財産ヲ官吏カ人民ト交換スルヲ許可セラル、コトナシ  
ト信ス然ラハ則チ地方稅ノ財産ニ限リ此權利ヲ縣知事ニ與ヘラル、コトナキモ亦々知  
ルヘシ抑決算報告書ノ編製ハ全國府縣同一ノ體裁ヲ有シテ皆々雜收入ノ目アリ是レ一  
縣ノ知事カ獨斷ヲ以テ定メタル者ニアラスシテ上司ノ命令又ハ裁許ヲ經タル者タルニ

由ル然ルニ栃木縣知事獨リ物品交換ノ方法ヲ以テ雜收入ノ目ヲ減却スルノ權利ヲ有セ  
 ハ他ノ府縣知事モ亦同一ノ手段ヲ用ヒテ之ヲ爲スヲ得ヘシ此ノ如クハ決算書中ニ雜收  
 入ノ目ヲ掲グルノ必要ナカルヘシ然ルニ上司カ府縣知事ヲシテ此目ヲ掲グルノ決算書ヲ  
 採用セシメタルハ雜收入ノ現時ノ會計法ニ必用アルニヨルナリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ栃  
 木縣知事カ一般ノ通規ニ違フテ獨リ物品交換ノ權利ヲ有スル能ハサル斷シテ知ルヘシ  
 且物品交換トハ彼此物品ノ間ニ價格ヲ定メシテ其所有權ヲ互換スルノ義ナリ既ニ其  
 價格ヲ定ムルトキハ一方ノ物品ヲ測ルニ通貨ヲ以テシ他ノ一方ノ物品ヲ測ルニ亦々通  
 貨ヲ以テシタル者ニシテ物品ト物品トノ間ニ通貨ヲ入レタル者ナレハ一方ハ賣却シタ  
 ル者ニシテ一方ハ購入シタル者ニ外ナラス而シテ縣知事代理カ其辨明中六千圓云々ト  
 答ヘタルハ此理ヲ明カニスヘキノ確證トスヘシ若シ物品交換トセハ何レノ所ニカ六千  
 圓ノ價格ヲ生スヘキヤ既ニ價格ヲ生スル以上ハ何故ニ通規ニ從ヒテ之ヲ雜收入ニ組込  
 ミ之ヲ保存シテ以テ再度ノ議定ヲ經サルヤ又新縣廳用ノ木石ヲ購入スルニ其費途ニ正  
 當ノ支出ヲ求メサリシヤ

以上陳述ノ趣旨ヲ約ズルニ縣知事カ擅斷ヲ以テ縣有財產ヲ處分シタルハ收支ヲ濫リタ  
 ル者ニシテ即チ縣會ノ權利ヲ犯シタルナリ其雜收入ニ組込ムヘキモノヲ組込マズ又議  
 定ヲ經スシテ新縣廳ノ用材ヲ購入シタルハ獨斷ノ支出ヲ爲シタル者ニシテ即チ府縣會  
 規則全體ノ精神ヲ破リ特ニ其第一條ノ明文ニ背キタル者ナリト信ス

縣知事ノ答辯

明治十七年栃木縣廳位置ヲ宇都宮ニ移サレタルニ際シ廳舍ノ設ケナキヲ以テ有志者ノ  
 寄附金ト舊縣廳ノ木材瓦石トヲ併セ新廳建築スルノ計畫ヲナセシニ當時栃木町人民ノ  
 情願アルニ依リ舊縣廳木材ト小學校建築木材トノ交換ヲナシタリ是レ即チ行政上ノ處  
 分ニ屬スル物品ト物品トノ交換ニ付地方稅ノ精算報告ニハ素ヨリ關係セサルモノナル  
 ニ縣會ハ明治十七年度地方稅精算報告書ヲ受クルニ當リ該處分ハ議會ノ權限ヲ犯シタ  
 ルモノトナシ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ請フノ具狀書差出候ニ付縣知事モ亦意見  
 ノアル所ヲ詳ラカニシ裁定ヲ仰カントス

縣會ハ明治十七年度地方稅精算報告書ヲ受クルニ當リ明治十七年中栃木縣廳舍ヲ栃木

○裁定

ヨリ宇都宮ニ移スノ際前縣令三島通庸カ其建物ヲ金六千圓ニテ拂下ケタルハ縣民ノ普  
 ク知ル所ナルニ精算書籍收入ノ目中此金額ヲ見サルニヨリ之ヲ縣知事代理ニ質問セシ  
 ニ舊縣廳建物ノ木材ヲ新廳ノ建築ニ移用センカ爲メ之ヲ取毀タントシタルニ栃木町人  
 民ヨリ舊建物ヲ其儘存在シ代リトシテ新廳建築ノ用材ヲ差出シ則チ木材ノ交換ヲ願出  
 タルニヨリ之ヲ採用シタルモノニシテ如此物品ノ交換ナレハ雜收入ニ組込ムヘキモノ  
 ニアラス且此處分ハ行政上ノ職權内ニアリトスレトモ第一縣知事ハ公ケノ財産ヲ人民  
 ト相對交換スルノ權利ナシ故ニ地方經濟ニ屬スル縣有財産ヲ交換シタリト云フハ制度  
 ニ違ヒ議會ノ權利ヲ犯シタルモノナリ第二縣知事ノ處分ハ物品ノ交換ニアラスシテ純  
 然タル舊建物ノ賣却及ヒ新用材ノ購買タリトシ即チ府縣會規則全體ノ精神ヲ破リ特ニ  
 其第一條ノ明文ニ背キタルモノナリトスルニアリ依テ縣知事ハ府縣會規則全體ノ精神  
 ヲ破リタルニアラス且ツ其第一條ノ明文ニ背キタル所ナキノ理由ヲ左ニ陳ス  
 明治十七年一月二十一日第二號布告ヲ以テ栃木縣廳位置ヲ宇都宮ニ移サレ未タ廳舎ノ  
 設ナキヲ以テ有志者ノ寄附金ト舊縣廳ノ木材瓦石ト併セ新廳建築ノ計畫ヲナセシニ

栃木町人民ヨリ小學校ニ充テンカ爲メ舊縣廳建物ヲ其儘存在シ其代リ木石ヲ宇都宮ニ  
 出サントシ則チ木材ノ交換ヲ願出タルニ依リ之ヲ許可シ新廳用材ニ所用シタルモノニ  
 シテ其拂下ケテナシタルニアラスナルナリ抑地方稅ヨリ成立タル財産ニシテ後日不用ニ  
 屬シタルトキ之ヲ處分スルハ行政上府縣知事ノ職權ナリ若シ之ヲ議定セシムルトスレ  
 ハ府縣會ヲシテ事業ノ存廢ヲ議セシムルモノニシテ府縣會規則第一條ニ背戻セリ然ル  
 ニ縣會ハ第一ニ縣知事ハ公ケノ財産ヲ人民ト相對交換スルノ權利ナシ故ニ地方經濟ニ  
 屬スル縣有財産ヲ交換シタリト云フハ制度ニ違ヒ議會ノ權利ヲ犯シタルモノトス然ラ  
 ハ此財産處分ヲシテ縣會ノ議決ヲ經ヘキモノトスルカ是レ事業ノ存廢ヲ議セシムルモ  
 ノニシテ府縣會規則第一條ノ精神ニ背クト云ハサルヲ得ス且ツ此財産交換ハ栃木町公  
 共ノ學校建築木材ト縣廳建築木材トノ交換ニシテ行政權内ニ屬スル相當ノ處分ヲナシ  
 タルモノナリ何ソ之ヲ一私人ノナセシ如ク相對交換ト云ヒ或ハ之ヲ制度ニ違ヒタルモ  
 ノト云フヘケンヤ第二ニ縣知事ノ處分ハ物品ノ交換ニアラスシテ純然タル舊建物ノ賣  
 却及新用材ノ購買タリトシ又縣知事代理カ辯明中六千圓云々ト答ヘタルハ此理ヲ明テ

○裁定

ヨリ宇都宮ニ移スノ際前縣令三島通庸カ其建物ヲ金六千圓ニテ拂下ケタルハ縣民ノ普  
ク知ル所ナルニ精算書雜收入ノ目中此金額ヲ見サルニヨリ之ヲ縣知事代理ニ質問セシ  
ニ舊縣廳建物ノ木材ヲ新廳ノ建築ニ移用センカ爲メ之ヲ取毀タントシタルニ栃木町人  
民ヨリ舊建物ヲ其儘存在シ代リトシテ新廳建築ノ用材ヲ差出シ則チ木材ノ交換ヲ願出  
タルニヨリ之ヲ採用シタルモノニシテ如此物品ノ交換ナレハ雜收入ニ組込ムヘキモノ  
ニアラス且此處分ハ行政上ノ職權内ニアリトスレトモ第一縣知事ハ公ケノ財産ヲ人民  
ト相對交換スルノ權利ナシ故ニ地方經濟ニ屬スル縣有財産ヲ交換シタリト云フハ制度  
ニ違ヒ議會ノ權利ヲ犯シタルモノナリ第二縣知事ノ處分ハ物品ノ交換ニアラスシテ純  
然タル舊建物ノ賣却及ヒ新用材ノ購買タリトシ即チ府縣會規則全體ノ精神ヲ破リ特ニ  
其第一條ノ明文ニ背キタルモノナリトスルニアリ依テ縣知事ハ府縣會規則全體ノ精神  
ヲ破リタルニアラス且ツ其第一條ノ明文ニ背キタル所ナキノ理由ヲ左ニ陳ス  
明治十七年一月二十一日第二號布告ヲ以テ栃木縣廳位置ヲ宇都宮ニ移サレ未タ廳舎ノ  
設ナキヲ以テ有志者ノ寄附金ト舊縣廳ノ木材瓦石トヲ併セ新廳建築ノ計畫ヲナセシニ

栃木町人民ヨリ小學校ニ充テンカ爲メ舊縣廳建物ヲ其儘存在シ其代リ木石ヲ宇都宮ニ  
出サントシ則チ木材ノ交換ヲ願出タルニ依リ之ヲ許可シ新廳用材ニ所用シタルモノニ  
シテ其拂下ケヲナシタルニアラスナルナリ抑地方稅ヨリ成立タル財産ニシテ後日不用ニ  
屬シタルトキ之ヲ處分スルハ行政上府縣知事ノ職權ナリ若シ之ヲ議定セシムルトスレ  
ハ府縣會ヲシテ事業ノ存廢ヲ議セシムルモノニシテ府縣會規則第一條ニ背戻セリ然ル  
ニ縣會ハ第一ニ縣知事ハ公ケノ財産ヲ人民ト相對交換スルノ權利ナシ故ニ地方經濟ニ  
屬スル縣有財産ヲ交換シタリト云フハ制度ニ違ヒ議會ノ權利ヲ犯シタルモノトス然ラ  
ハ此財産處分ヲシテ縣會ノ議決ヲ經ヘキモノトスルカ是レ事業ノ存廢ヲ議セシムルモ  
ノニシテ府縣會規則第一條ノ精神ニ背クト云ハサルヲ得ス且ツ此財産交換ハ栃木町公  
共ノ學校建築木材ト縣廳建築木材トノ交換ニシテ行政權内ニ屬スル相當ノ處分ヲナシ  
タルモノナリ何ソ之ヲ一私人ノナセシ如ク相對交換ト云ヒ或ハ之ヲ制度ニ違ヒタルモ  
ノト云フヘケンヤ第二ニ縣知事ノ處分ハ物品ノ交換ニアラスシテ純然タル舊建物ノ賣  
却及新用材ノ購買タリトシ又縣知事代理カ辯明中六千圓云々ト答ヘタルハ此理ヲ明ラ

○裁定

カニスルノ確證ニスヘシト論スレモ縣會カ具狀書中ニ縣知事代理カ答辯ヲナシタル大要トシ掲ケタルモノハ頗ル事實ヲ錯誤スル所アリ栃木町人民ニ木材ノ交換ヲ許可シタリトスルノ辯明文中舊建物ノ拂下ケテ請ヒ云々トシ或ハ其代價六千圓云々トスルカ如キハ木材交換ノ辯明ニハ事理貫通セサルノ語ナリ已ニ自ラ縣知事代理ノ答辯ヲ取テ以テ要項ヲ掲クルノ第一ニ財産交換云々トセリ是レ其辯明ヲ拂下ケト認メサルノ確證ナリ如此ナレハ舊建物ノ賣却ナリ新用材ノ購買ナリトスル所ノモノハ啻ニ其處分ヲ推定シテ論述セシニ過キス若シ之ヲ拂下ケタランニハ素ヨリ雜收入ニ組込ムヘクシテ取テ争フ所ニアラス而シテ舊栃木縣廳建物ノ處分ハ前ニ審明セシカ如ク物品ノ交換ニシテ其財産ハ即新縣廳ニ移リシモノナルヲ以テ行政上ノ處分ニ係ル縣知事ノ職權ニ屬スルモノナリ以上陳述ノ趣旨ナルヲ以テ縣知事カ當時縣有財産ヲ處分シタルハ其職權ニ屬シ縣會ノ權利ヲ犯シタルニアラス又之ヲ拂下ケタルニアラサレハ雜收入ニ組込ムノ謂レナシ是即チ府縣會規則全體ノ精神ヲ破リタルモノニアラス且ツ其第一條ノ明文ニ背キタル所ヲシトスル所以ナリ

審明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ争フト云フノ要點ハ前縣令カ擅斷ヲ以テ縣有財産ヲ處分シタルハ收支ヲ濫リタル者ニシテ即チ縣會ノ權利ヲ犯シタルナリト謂フニ在リ依テ之ヲ審按スルニ前縣令カ縣廳移轉ニ付其建物及用材ニ係ル處分ヲ爲シタル如キハ行政上ノ職權ニ屬シ府縣會規則第一條ヲ以テ規定シタル縣會ノ議權ニ關係ナキモノトス而シテ縣會ハ前縣令ニ於テ舊縣廳舎ヲ賣却シタルモノ之ヲ雜收入ニ組込マスト謂ヒ縣知事ハ交換ナルヲ以テ雜收入ニ組込マサレトモ若シ之ヲ拂下ケタランニハ素ヨリ雜收入ニ組込ムヘクシテ取テ争フ所ニアラスト謂フハ實際拂下ケタリト謂ヒ交換ナリト謂フノ論争ニ止マリ法律ノ見解ヲ異ニシタルモノニアラス又權限ヲ争フモノニアラサレナリ法制局ハ府縣知事ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ争フモノヲ裁定スル所ナルヲ以テ本件ノ如キハ法制局ノ裁定ヲ請フヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ法制局ニ於テ裁定スヘキ限リニアラス

○裁定

明治二十年一月十七日

- 審理委員長 法制局長官 山尾庸三
- 審理委員 法制局參事官 馬屋原 彰
- 審理委員 法制局參事官 男 谷 忠 友
- 審理委員 法制局參事官 廣 瀬 進 一
- 審理委員 法制局參事官 長 森 敬 斐
- 審理委員 法制局參事官 木 下 周 一
- 審理委員 法制局參事官 岸 本 辰 雄

第三百三十四

地方税中不足補充ノ件

新潟縣知事 篠崎五郎

新潟縣會議長 山口權三郎

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ十八年度地方税中郡區吏員給料旅費及廳中諸費戶長以下給料旅費不足補充ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領

左ノ如シ

縣會ノ具狀

新潟縣知事ハ十八年度地方税出納決算ノ報告ヲナスニ方リ郡區吏員給料旅費及廳中諸費戶長以下給料旅費ノ二費目中金八百十六圓四十四錢四厘（救育費及地方税取扱費ノ二費目ニ生シタル豫算ノ不足金百三十六圓七十八錢三厘ハ豫算外ニ生シタル事件ノ費トナシ其當時即チ年度内ニ於テ豫備費ヨリ支出シタルモノニ係ルヲ以テ爰ニ之ヲ論セズ）ノ不足ヲ生シタルニ知事ハ他ノ各費目中殘餘金四万四千五百九十五圓六十五錢六厘ノ中ヨリ扣除シテ之ヲ補充シ以テ其完結ヲ告ケタリ（此事實ヲ調査スルニ該年度豫備費ノ豫算額ハ一万六千四百二十七圓七十四錢六厘ニシテ既ニ年度内ニ於テ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニ充テ支出シタル額ハ一万六千九百九十四圓五十二錢三厘ニ達シ年度尾ノ殘額ハ二百三十三圓二十二錢三厘ナリ然ルニ知事ハ決算上各費目ニ餘贏アリシヲ以テ一日豫備費ヨリ支出シタル金額ヲ復タ豫備費ニ繰戻シ其額ヲ充塞セシメ爰ニ十八年度郡區吏員給料旅費及廳中諸費並ニ戶長以下給料旅費ノ二費目不足補充議定ノ爲

○裁定

メ臨時縣會開設云々ヲ以テ議員ヲ召集シタルニモ拘ラス俄然臨時縣會ヲ取消シ該不足費ヲ豫備費ヨリ補充シタルモノニ係レリ。仍テ本會ハ地方稅規則第三條及第五條ニ據リ其所爲ヲ不當ナリトシテ之カ辨明ヲ要メタルニ知事代理人ハ曰該不足費タル豫備費ヨリ補充シ得ルハ勿論ニシテ其額ノ豫備費殘餘額内ヲ以テ給足シ得ルノ場合ニ於テハ地方稅規則第五條第二項ノ明文ニ據リ補充議案ヲ發スヘキノ必要ナシト辨明セリ之ヲ法律ニ照スニ地方稅規則第三條ニ在リテ豫備費ノ細註ニ曰豫算外ニ生シタル事件ノ費途及豫算ノ臨時不足ニ充ルモノトアリ又同第五條第二項ニ在リテハ前年度經費決算ノ場合ニ於テ已テ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取り其補充費ヲ徵收スル事ヲ得トアリ抑該不足費タル精算完結ノ際ニ臨ミ初テ發見シタルモノニシテ其性質ヤ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニアラス又豫算ノ臨時不足ニモ非サレハ豫備費ヨリ補充スヘキ理由ハ毫モ存セサレハ知事代理人カ第一段ニ答辨スル所ハ地方稅規則第三條第二十項ノ明文ニ背反シタルモノナリ又同第五條第二項ハ特ニ決算ノ場合ニ於テ生シタル一費目ノ不足額補充ヲ議定スルノ明文ニシテ

他ノ費目即チ豫備費ノ殘餘アルト否トニ關セサレハ知事代理人カ第二段ニ答辨スル處モ亦地方稅規則第五條第二項ノ明文ニ背反シタルモノナリ  
 以上論駁スルカ如クナルヲ以テ即チ不足金八百十六圓四十四錢四厘ハ前ニ證明セル地方稅規則第五條第二項ニ該當スルヲ以テ更ニ議案ヲ發スヘキモノナリトス然ルニ知事ハ法律正文外ノ解釋ヲナシ該不足金ヲ豫備費ヨリ補充シタルハ法律ノ見解ヲ誤レルモノナリ

縣知事ノ答辨

縣會ハ十八年度地方稅出納決算報告書中郡區吏員給料旅費及廳中諸費戶長以下給料旅費ノ二費目中金八百十六圓四十四錢四厘ノ不足ヲ生シタルニ知事ハ他ノ各費目中殘餘金四萬四千五百九十五圓六十五錢六厘ノ中ヨリ扣除シテ之ヲ補充シ以テ其完結ヲ告ケタルハ其所爲不當ナリト云フト雖モ該不足金八百十六圓四十四錢四厘ハ同年度豫備費一萬六千四百二十七圓七十四錢六厘ノ中ヲ以テ補充シタルモノナリ然ルニ縣會ハ其豫備ヲ擱キ直ニ殘餘金即チ各費目精算ノ金額ヲ以テ豫算ニ對スル減少合計金四萬四千五



百九十五圓六十五錢六厘ヨリ一概ニ扣除シタリト云フカ如キハ其事實ヲ悉サ、ル却テ不當ノ所見ト謂ハサルヲ得ス

又該不足費タル精算完結ノ際ニ臨ミ初テ發見シタルモノニシテ其性質ヤ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニアラス又豫算ノ臨時不足ニモアラサレハ豫備費ヨリ補充スヘキ理由ハ毫モ存セサレハ地方税規則第三條ニ在リテ豫備費ノ細註ニ豫算外ニ生シタル事件ノ費途及豫算ノ臨時不足ニ充ルモノトアル明文ニ背反シタルモノナリト論スト雖モ本來豫備費ナルモノハ地方税規則第三條ニ列記セル各費目中何費目ヲ問ハス其定額豫算外ニ生シタル事件ノルトキ又ハ豫算ノ臨時不足シタルトキ之ニ充ルモノナレハ既ニ議定セル豫備費額内ヲ以テ補充ニ供スルヲ得ルヤ論ヲ俟タサルナリ

又地方税規則第五條第二項ハ特ニ決算ノ場合ニ於テ生シタル一費目ノ不足額補充ヲ議定スルノ明文ニシテ他ノ費目即チ豫備費ノ殘餘アルト否トニ關セサレハ第五條第二項ニ在リテ前年度經費決算ノ場合ニ於テ已チ得サル事故アリテ費目中不足ヲ生スルモノアルトキハ府知事縣令ハ府縣會ノ議決ヲ取リ其補充費ヲ徵收スル事ヲ得トアル明文ニ

背反シタルモノナリト論スト雖モ該二項ハ更ニ地方税ヲ徵收スルニアラサレハ其不足ヲ補充スル能ハサル場合ニ於テ初テ適用スヘキモノニシテ既ニ議定セル豫備費ヲ以テ充足シ得ル限リハ之ニ據ルヲ要セサルコト該二項末段其補充費ヲ徵收スルコトヲ得トアル明文ニ就テ觀ルモ明ナリ

又具狀書中割註ニ云々スレトモ是皆關係手續ノ一部ニ屬スルヲ以テ爰ニ辯解ヲ須ヒス以上法文ニ就キ解釋スルヲ以テ該不足金ヲ豫備費ヨリ補充シタルハ最適當ノコトニシテ毫モ法律ニ背反セサルモノト信ス

審明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニスルノ要點ハ縣知事ニ於テ地方税出納決算ノ報告ヲ爲スニ方リ費目中ニ不足ヲ出シタルトキハ豫備費ヲ以テ之ヲ補充スヘキモノナルヤ又ハ地方税規則第五條第二項ニ依リ縣會ノ議決ヲ經テ其補充費ヲ徵收スヘキモノナルヤ否ニ在リ依テ之ヲ審案スルニ縣會ハ該不足費タル精算完結ノ際ニ臨ミ初テ發見シタルモノニシテ其性質ヤ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ニアラス又豫算ノ臨時不足ニモアラサレハ

○裁定

豫備費ヨリ補充スヘキ理由ハ毫モ存セサルモノナリト謂フト雖モ抑モ豫備費ハ豫算ノ臨時不足ニ充ツヘキモノナルカ故ニ其年度經費ノ精算報告前ニ在テ不足アルトキハ何時ニテモ豫備費ヲ以テ之ヲ補充シ得ヘキモノトス又縣會ハ同規則第五條第二項ハ特ニ決算ノ場合ニ於テ生シタル一費目ノ不足額補充ヲ議定スルノ明文ニシテ他ノ費目即チ豫備費ノ殘餘アルト否トニ關セサルモノナリト謂フト雖モ畢竟豫備費ハ各費目ニ對スル豫備費ナルカ故ニ右第二項ハ豫備費ニ殘餘ナキ乎又ハ豫備費ヲ以テ補充スルモ猶ホ不足スル場合ニ於テ之ヲ適用スヘキモノニシテ豫備費ニ殘餘アルニ於テハ別ニ補充費ヲ徵收スヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ縣知事カ十八年度經費決算ノ場合ニ方リ豫備費ヲ以テ郡區吏員給料旅費及廳中諸費戶長以下給料旅費ノ二費目中ノ不足ヲ補充シタルハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノニアラス

明治二十年一月十五日

- |       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 審理委員長 | 法制局長官  | 山尾庸三  |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 岩崎小二郎 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 股野琢   |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 曾禰荒助  |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 本尾敬三郎 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 水野遵   |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 蒲生仙   |

第三百二十五

地方稅支出豫算其他ノ件

- |        |      |
|--------|------|
| 高知縣知事  | 田邊良顯 |
| 高知縣會議長 | 弘田正郎 |

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ明治二十年度地方稅支出豫算警察費並ニ縣監獄費雜給中巡查及看守給助資金ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

○裁定

縣會ノ具狀

茲ニ高知縣會ハ高知縣知事ト法律ノ見解ヲ異ニスルモノアルニ付キ乃チ府縣會規則第九條ニ依リ政府ノ裁定ヲ仰カントス  
第一高知縣知事ハ今十一月二十日ヲ以テ本年ノ通常縣會ヲ開場シ明治二十年度地方稅支出並ニ收入豫算議案及其說明書ヲ提出シタリシカ其間警察費並ニ縣監獄費中ニ於テ左ノ如キモノアルヲ看出シタリ

一金貳萬千貳百拾壹圓三拾貳錢

雜 給

內 譯

金貳千圓

巡查給助資金

說明書ニ云フ是ハ巡查四百名資金壹人五圓ノ積算ナリ

右警察費中

一金壹萬八千九百拾壹圓四拾六錢四厘

雜 給

內 譯

金五百七拾圓

看守給助資金

說明書ニ云フ是ハ看守百拾四人資金壹人五圓ノ積算ナリ

右縣監獄費中

此ノ如クナルカ故ニ議會ハ猶其詳細ノ旨趣方法ヲ縣知事代理トシテ議場ニ出頭セシ者ニ質問シタルニ縣知事代理人ハ之ニ答辨シテ曰是ハ別紙巡查給助資金並ニ給與計算參考書看守給助資金收支計算參考書ノ如ク巡查給與資金ハ明治二十年度ヨリ向フ三十五箇年ヲ期シテ所謂給助資金ヲ積立ルノ計策ニ出タルモノトシ看守給助資金ハ向フ三十七箇年ヲ期シテ所謂給助資金ヲ積立ルノ計策ニ出タルモノナリ故ニ其幾分ハ毎年度之ヲ給助金ニ費用シ其幾分ハ三十餘箇年ニ至ルマテ之ヲ積立テ且其利子ヲ收メ而シテ積立年期後ニ至テハ徵收ハ全ク之ヲ廢シ曾テ積立タル資金ノ利子ヲ以テ給助ノ費ニ充テ永遠無期ニ給助ノ事ヲ施行セントスルモノナリ曰此原案ハ巡查看守給助例ニ本ツキ其主旨ヲ實行センカ爲ニ設ケタル所ノ一方法ナリ縣廳ハ是ノ如キノ方法ヲ設クルニ非サルヨリハ他復タ給助ノ主旨ヲ實際ニ施行スルニ足ルモノアラサルナリト議會ハ頗ル其

○裁定

原案ノ新奇ナルニ驚カサルヲ能ハス因テ縣知事ハ如何ナル法律規則ニ據リ爾ルカ如キ  
ノ議案ヲ組立タルヤテ質問セシニ代理人ハ之ニ答辨シテ曰地方稅規則第四條第一項ニ  
據リテ作りタルモノナリト是レ其縣會カ縣知事ト法律ノ見解ヲ異ニスルヲ由テ起ル  
所ナリ

第二夫レ地方稅規則第四條第一項ニ曰

其年四月ヨリ翌年三月迄ヲ一周年度ト爲シ府知事縣令ハ前年十月迄ニ地方稅ヲ以テ  
支辨スヘキ經費ノ豫算並ニ地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額ト爲シ其府縣會ノ  
議決ヲ取り其年二月ヲ以テ內務卿及大藏卿ニ報告スヘシ

然ラハ本法本條ノ第一項タルヤ全ク徵收支出俱ニ一年度ニ止マルモノニ就テ定規ヲ示  
スモノナルヲ知ルヘク而シテ徵收ナリ支出ナリ連年若クハ無期ニ及フモノニ就テ定規  
シタルニ非サルハ瞭々明知スルヲ得ヘキナリ然ルニ今彼高知縣知事カ我縣會ニ提出シ  
タル議案中ニ掲クル巡査給助資金並ニ看守給助資金ノ方法ハ豈夫レ一年度限リノ出入  
ニ止マルモノナランヤ此方法タルヤ元來三十餘箇年ヲ期シテ積立ヲ爲シ利息ヲ收メ又

其積立滿年マテハ年々徵收スル所ノ幾部分ヲ其各年度内ノ給助費ニ供シ而シテ積立滿  
年ノ翌歲ヨリハ嘗テ儲蓄シタル積金ノ利子ヲ以テ永遠無期ニ給助ノ事ヲ施行セントス  
ルニ非スヤ而シテ縣知事ハ議會ニ對シ斷言シテ曰此議案ハ地方稅規則第四條第一項ニ  
依據シテ作りタルモノナリ地方稅規則第四條第一項ハ元來此議案ノ如キモノヲ許スノ  
精神旨意ナリト我縣會ハ以爲テ今縣知事カ提出スル如キノ議案ハ決シテ地方稅規則  
第四條第一項ニ托スルヲ得ルモノニ非ス地方稅規則第四條第一項ハ決シテ此議案ノ  
如キモノヲ許スノ精神旨意ニ非サルナリト是レ高知縣會カ高知縣知事ト法律ノ見解ヲ  
異ニスル所ノ大體ナリ

第三夫レ府縣知事ニシテ苟クモ地方稅ノ徵收並ニ支出ヲ爲サントス豫メ府縣會ノ議決  
ヲ經サルヘカラサルハ今ニシテ論スルヲ須ヒサルナリ而シテ知事タル者之ヲ徵收並ニ  
支出スルニハ果シテ何等ノ規則ニ依リ以テ其方法ヲ選定スヘキ乎豈地方稅規則ヲ措テ  
他アランヤ然ルニ該規則ニハ其第四條ニ於テ之ヲ定メテ曰

其年四月ヨリ翌年三月迄ヲ一周年度ト爲シ府知事縣令ハ前年十月迄ニ地方稅ヲ以テ

○裁定

支辨スヘキ經費ノ豫算並ニ地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額ト爲シ其府縣會ノ議決ヲ取り其年二月ヲ以テ內務卿及大藏卿ニ報告スヘシ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ナ期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年期間各年度ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取り府知事縣令ヨリ內務卿ニ具狀シ認可ヲ得テ其年期間之ヲ施行スルヲ得

此ノ如クナレハ知事タル者苟モ地方稅ノ徵收支出ヲ爲サントス必スヤ先ツ此第四條ヲ昭カニセサルヘカラス則徵收支出ノ一年ニ止マルモノニ就テハ其第一項ニ依據スヘク其支辨スヘキ事件數年ナ期シテ施行スルモノハ其第二項ニ依據スヘキナリ但ニ彼大政府立定スル所ノ備荒儲蓄法ノ如キ特別ノ條規アルモノハ格段ナリト雖モ未タ大政府ノ法典アルニモアラスシテ知事タル者自ラ地方稅規則ヨリ範圍外ノ方法ヲ獨定專行セントスルカ如キハ決シテ許スヘカラサルノナリト然ルナ何ソヤ高知縣知事ニ於テハ或ハ巡查給助資金ト稱シ或ハ看守給助資金ト稱シ實ニ三十餘箇年ナ期シテ積立ヲ爲シ利息ヲ收メ又其積立滿年マテハ徵收スル所ノ幾部分ヲ其年限リノ給助金ニ費用シ滿年

二附一

後ヨリハ管テ儲蓄シタル資金ノ利子ヲ以テ永遠無期ニ給助ノ事ヲ施行セントスルカ如キ頗ル特殊ノ方法ニ屬スルモノヲ立案シ之ヲ議會ニ提出シテ謂テ曰是レ地方稅規則第四條第一項ニ依據スルモノナリ第四條第一項ハ元來是等ノ方法ヲ許スノ精神旨意ナリト何ソ其言ノ太ダ不當ナルヤ夫レ第四條第一項ハ一年度限りノ會計ニ止マルモノニ就テ定規スルノミ連年若クハ無期ニ互ルモノニ就テ定規スルニ非サルナリ而シテ今彼巡查給助資金ト稱シ或ハ看守給助資金ト稱スルモノ、方法タル徵收ハ三十餘箇年ナ期シテ支出ハ永遠無期ニ及フモノナリト是ノ如キモノ奈ソソ第四條第一項ノ容允スル所ナランヤ縣知事代理人ハ議場ニ來リ辨シテ曰徵收ニ就テハ三十餘箇年ナ期シテ積立ヲ爲シ利息ヲ收ムト雖モ年々徵收スル所ノ金錢ハ各其年度内ニ支出シタルモノト看做シ而シテ其年度々々實際給助ニ消費シタル分ハ之ヲ眞ノ費耗ト爲シ其積立ニ供スル部分ハ實際消滅シタルニ非サレトモ唯其積立ト云ヘル境内ニ引渡ス譯ナルカ故ニ該引渡ヲ徵標トシ之ヲ其年度内ヨリハ已ニ支出シ盡セシモノト爲サントスルナリト又曰此給助資金積立ノ一事ハ彼數年ナ期シテ施行スル事業ト同一視スヘキモノニアラス這ハ只巡查給

○裁定

助看守給助ノ旨趣ヲ實行セシカ爲ノ經濟ニ關スル一方法タルニ過キサルノミ故ニ地方  
 稅規則第四條第一項ニ牴觸スルコトハ之レアラヌ第四條第一項ハ是等ノ方法ヲ許サ、ル  
 モノニハアラサルナリト然レモ第四條第一項ノ本意ハ尙ホ猶ホ此ノ如キモノヲ許スニ  
 非サルナリ乞フ更ニ精算報告ノ點ヨリシテ之ヲ論セン夫レ地方稅規則第七條ニ曰  
 府知事縣令ハ一周年度間ノ出納ヲ計査シ精算帳及計表ヲ製シ翌年通常會ノ初メニ於  
 テ之ヲ府縣會ニ報告シ然ル後内務卿及大藏卿ニ報告スヘシ  
 然ラハ地方稅ニシテ果シテ一年度限リノ出入ニ止マルモノナラハ地方官ハ年々徵收支  
 出ノ精算ヲ爲シ若シ殘餘ノモノアレハ之ヲ翌々年度ニ繰越シ即之ヲ前年度ヨリノ繰越  
 金ト爲シテ更ニ他ノ雜收入ト併シテ取扱ハサルヘカラサルナリ是レ正當ノ手續ナリ決  
 シテ違フコトヲ得サル所ノモノナリ然ルニ今彼巡查給助資金看守給助資金ノ方法タルヤ  
 名ハ則單ニ給助資金ニシテ實ハ則給助資金ト給助金トニ別ル、モノナレハ縣知事カ之  
 ニ就テ精算報告ヲ爲スニハ果シテ如何ナル仕方ヲ以テセントスル乎右原案ハ已ニ第四  
 條第一項ニ依據スルト云フ以上ニハ縣知事ハ必スヤ毎翌々年度ニ精算報告ヲ爲シ而シ

テ且其實際ニ於テ豫算通り消費セサリシ餘金アラハ之ヲ翌々年度ニ繰越サ、ルヘカラ  
 サル譯ナルニ彼給助資金ニ至テハ然ラス唯其實際給助ニ消費セシモノ丈ケハ消費シタ  
 リトノ報告ヲ爲スニモセヨ其殘餘ハ之ヲ翌々年度ニ繰越スコトヲ爲サス而シテ其殘金ハ  
 直ニ之ヲ把テ積金ト爲サントス是レ豈地方稅規則第七條ニ稱フモノナランヤ已ニ第七  
 條ニ稱ハス則隨テ第四條第一項ニ稱ハサルコト知ルヘキノミ而シテ縣知事代理人ハ何時  
 迄モ固執シテ曰第四條第一項ハ此ノ如キモノヲ許スノ精神旨意ナリト是ニ於テカ我縣  
 會ハ愈々縣知事ト法律ノ見解ヲ異ニスルニ至リタリ

第四今約シテ之ヲ云ヘハ縣知事カ右地方稅規則第四條第一項ヲ見ルヤ左ノ如シ  
 此第四條第一項タル彼給助資金ト稱ヘ實際ハ三十餘箇年ニ亘リ積立ヲ爲シ利子ヲ收  
 メ積立滿年後ヨリハ永遠無期ニ給助ヲ施行スルナレモ其年々ニ徵收セシ金錢ハ之ヲ  
 其年度内ニ支拂了ルモノト看做シ行フ所ノ一方法ノ如キモノヲ許スノ精神旨意ナリ  
 又我縣會カ之ヲ見ルヤ左ノ如シ

此第四條第一項タル彼給助資金ト稱ヘ實際三十餘箇年ヲ期シテ積立ヲ爲シ利子ヲ收

○裁定

メ積立滿年後ヨリハ永遠無期ニ給助ヲ施行スル如キモノハ縱令辨解上ニ於テコソ年々ニ徴收セシ金錢ハ之ヲ其年度内ニ支拂了ルモノト看做シ行カントスルモ看做ノ二字ハ決シテ本件ノ事實ヲ空無ナラシムルニ足ルモノニアラス將タ其精算報告上ニ於テモ乍ナ地方税規則第七條ニ牴觸スルカ故ニ決シテ斯カルモノヲ許スノ精神旨意ニアラサルナリ

縣知事ノ答辯

今般高知縣會ハ高知縣知事トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニセリト云フヲ以テ具狀ニ及タルニ因リ府縣會規則第九條ニ遵ヒ其事由ヲ左ニ具陳ス

明治二十年度地方税支出豫算中警察費及縣監獄費雜給中ニ巡查看守給助資金ヲ置タルハ本年內務省甲第七號達ニ依リ本年度ヨリ明治十五年太政官第四十一號達巡查看守給助例ヲ實施セントスルニ在リ抑該給助例タルヤ一時資金及終身或ハ年期ヲ限り支給スルモノナルヲ以テ年數ヲ積ムニ從テ支出金額ノ増加ヲ要スル事件ナレハ之ヲ通常經費ノ如ク毎年地方税ヨリ徴收施行スルモノトセハ往々大ニ經濟上影響ヲ及ホスカ故ニ今

ヨリ之カ計畫ヲ爲シ此實施ノ爲メ巨多ノ地方税ヲ徴收スルニ及ハサル方法ヲ設クルハ最茲ニ必要ノ事ナリトス且本案ハ年期ヲ豫定シテ特ニ一種ノ事業ヲ起サントスルニ非ズ該資金若干圓ハ當該費目即雜給中ニ編入シ每年度縣會ニ付シ議定セシメ其支出即給助ノ實費及資金ノ精算ハ一般ノ例ニ依リ翌々年度ノ通常會ニ報告ヲナス勿論ナルカ故ニ地方税規則第四條第一項ニ據ルハ固ヨリ當然ノ手續ナリトス然レモ其資金積立方法ヲ縣會之ヲ不可ナリト認ムルニ於テハ議案ノ金額ニ就テ其年度ニ要スヘキ給助金額ノニ議定スルヲ得ヘキモノナルニ議會ハ其措置此ニ出スシテ單ニ本案ヲ取テ以テ法律ノ範圍外ト爲シタル而已ナラス元來其資金ノ方法書ハ別ニ議案ニ添付シ議員ノ參考ニ付與セシモノナレハ議會ハ此方法即參考書ニ對シ議定シ得ヘキモノニ非ズ畢竟スルニ警察監獄兩費雜給中ヨリ給助資金ニシテ支出シ若干年ヲ經テ資金全備ノ上ハ將來之カ爲メ地方税ノ支出ヲ要セサル目的ヲ以テ經濟上ノ便法ヲ設クルヲ必要トシ之ヲ施行スルハ固ヨリ知事ノ職權内ニ於テ爲シ得ヘキモノタルヤ勿論ナリ是則地方税規則第四條第一項ニ依リ議案ヲ發付シタル所以ナリトス

○裁定

夫レ然リ而シテ高知縣會ハ地方稅規則第四條第一項ニ據ルヘカラストシ其精神ハ要スルニ一周年度ノ經費ハ其年度内ニ實費ヲ支辨スヘキモノニ限リ其年度ニ在テ決算ヲ了スヘキモノナレハ其殘餘金ハ一般ノ繰越金ニ編入スヘキモノナリ故ニ別途ノ積立ヲ爲スハ地方稅規則第四條第一項及第七條ノ法意ニ稱ハスト云フニ在リ

案スルニ前陳第一項ノ主意ヲ以テ資金トナシ支辨ヲ爲スモ亦高知縣會カ云ヘル如ク實費ヲ以テ支辨ヲ爲スモ均シク同一ノ支辨ニシテ當該年度ニ於テ支出スヘキ費途ナレハ即地方稅規則第四條第一項ニ據ルヘキハ勿論ニシテ縣知事カ之ヲ必要トシ施行スルハ法律上毫モ犯ス所ナキモノト確信ス

密明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニスル要點ハ縣知事ハ地方稅規則第四條第一項ニ依リ巡查及監守給助資金積立法ヲ設クルヲ得ルヤ否又該資金積立法ヲ設クルハ地方稅規則ノ範圍外ナルヤ否ニ在リ依テ之ヲ審案スルニ縣知事ニ於テハ該資金積立法ヲ以テ地方稅規則第四條第一項ニ依リ之ヲ施行ズヘキモノト爲スト雖モ右第一項ハ縣會意見ノ如ク徵

収支出ノ一年内ニ止ルモノヲ規定シタルモノニシテ該資金積立ノ如キ連年ニ亘ル事件ヲ包含シタルモノニアラス又縣會ニ於テハ該積立法ハ右第一項ニ依ルヘカラサルハ勿論地方稅規則範圍外ノモノナリト謂ト雖モ同規則第二項ハ數年ヲ期シテ施行スル事件ヲ規定シタルモノナルニヨリ該資金積立法ノ如キモ亦地方稅費目中ノ一事件ニ過キサレハ初年ニ於テ年期ヲ定メ其事件ニ要スル經費豫算ヲ立縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得ヘシ要スルニ縣知事カ該資金積立法ヲ設ケントスルニ方リ地方稅規則第四條第一項ニ依ルヘキモノト爲セシハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノトス又縣會カ該積立法ヲ以テ同規則範圍外ノモノト爲セシハ亦法律ノ見解ヲ誤リタルモノトス

判決

右ノ理由ニ依リ縣知事カ地方稅規則第四條第一項ニ依リ巡查監守給助資金積立法ヲ設ケントシタルハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノトス然レトモ該積立法ヲ以テ地方稅規則範圍外ノモノト爲スコトヲ得ス

明治二十年一月十七日

○裁定



第三百二十六

地方稅支出追加豫算其他ノ件

- |       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 審理委員長 | 法制局長官  | 山尾庸三  |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 岩崎小二郎 |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 平田東助  |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 股野琢   |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 曾禰荒助  |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 水野遵   |
| 審理委員  | 法制局參事官 | 蒲生仙   |

愛知縣知事 勝間田 稔

愛知縣會議長 森 東一郎

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ明治十九年度地方稅支出追加豫算警察費及警察廳舍建築修繕費議決事件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭ヒ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

當通常縣會ニ於テ常置委員ハ府縣會規則第三十七條ノ末段ニ依リ議決シタル事項ノ報告ヲ爲シテ曰ク本縣知事ハ明治十九年五月六日明治十九年度地方稅支出追加豫算ナル警察費並警察廳舍建築修繕費議案ヲ常置委員會ニ下付シ委員會ハ之ヲ修正議決シタリト然レモ本會ハ該議案ノ如キ不急ナル性質ノモノハ常置委員會ニ下付スヘキモノニ非ス又同會ニ於テ議決スヘキモノニ非スト信認シ縣知事代理人ニ向テ之カ質疑ヲ爲セシニ其說明ノ要旨ヲ舉レハ第一內務大臣ノ訓令書ニ自今ノ文字アリシテ第二現任巡查ニ辭職轉任病氣等ノ事故アリシテ第三費額少數ニシテ臨時會ヲ開クハ經濟上不都合ナリトノヲ等テ以テ臨時急施ヲ要スルノ事由ト認メ府縣會規則第三十七條ノ末段ヲ適用シタリト云フニ在リ然レモ本會ハ其辯明ノ一トシテ該則第三十七條ノ末段ヲ適用シ該議案ヲ委員會ニ於テ議決セシメタルハ正當ナル見解ナリシテ證明スルニ足ラズ反テ知事カ該則第三十七條ヲ誤解シ之カ適用ヲ誤リタルヲ徵證スヘシ則チ順次其理由ヲ開陳セシ

○裁定

本縣知事ハ内務大臣ノ訓令ニ自今ノ文字アリシヲ以テ臨時急施ヲ要スルノ一理由トナセシト雖モ抑モ自今トハ則チ今ヨリトノ意義ニシテ即時又ハ直チニト云フ如ク現ニ迫リタル意義ニ非ス又直チニ巡查ヲ召募スヘシト訓令シタルニモ非サルナリ故ニ該訓令ニ自今新タニ召募スル巡查ハ云々スヘシトアルハ若シ將來巡查ヲ召募スル場合ニ於テハ豫メ警察ノ要領ヲ訓授スヘシトノ意義ニ止マルモノトス夫レ如斯自今ノ文字ハ臨時急施ヲ要スルノ意義在ルニ非サルニ本縣知事ハ此不急ナル自今ノ文字カ該訓令書ノ冒頭ニ冠スルヲ以テ直チニ府縣會規則第三十七條末段ノ所謂臨時急施ナルモノト思考シ該案ヲ委員會ニ付セシハ該條ノ精神ヲ誤解シタルハ論ヲ俟タス併セテ内務大臣ノ訓令ヲ誤解シタルモノ、如シ又知事代理人カ當通常縣會ニ向ヒテ現任巡查ニ辭職轉任病氣等ノ事故アリト云フモ自家撞着前後反覆一モ取ルニ足ラサル辯明ニシテ其當時ニ在リテハ決シテ知事代理人カ云フ如ク事故缺員等ノ爲メ所謂府縣會規則第三十七條ノ臨時急施ヲ要スル場合有リシニ非サルハ現ニ知事カ常置委員會ニ下付シタル議案ノ説明書ニ該巡查ハ教習所構内ニ寄宿セシメ教授ノ上卒業者ヲ以テ現職巡查ノ缺員アル毎ニ之

ヲ補填シ云々ト明記シ之ヲ換言スレハ本縣巡查ハ當時滿員ナルモ豫メ教習巡查ヲ募集シ教習所構内ニ留メ置キ現在職巡查ノ缺員アルヲ俟チ之ヲ補填シ云々ト云フニ外ナラス果シテ然ラハ知事代理人カ當會ニ至リテ上文ノ如ク説明スルモ自家撞着ノ辯明ニシテ決シテ其見解ノ正當ナリシヲ證明スルニ足ラス反テ如此不急ナル性質ノ議案ヲ委員會ニ付シタルハ府縣會規則第三十七條ノ末段ヲ誤解シタルヲ徵證スヘシ且又新タニ巡查ヲ募集セントセハ從來ノ經驗ニ依ルニ少クモ三旬ノ日子ヲ要スヘク既ニ茲ニ三旬ノ日子アレハ此際充分ニ臨時縣會ヲ開クノ間アルヘシ然ルニ縣知事カ之ヲ臨時急施トナシ府縣會規則第三十七條ノ末段ヲ適用シ臨時縣會ヲ開カザリシハ不當ノ處置ナルノミナラス若シ果シテ臨時急施ト認メタリトセハ必スヤ其處置急施ニ出テサルヘカラズ然ルニ内務大臣ノ訓令ハ明治十九年四月八日ニシテ縣知事カ常置委員會ニ該議案ヲ下付セシハ翌五月六日ナレハ此間殆ソト三旬ノ曠日アリテ決シテ急施ノ手續ヲ盡シタルニ非サレハ縣知事モ亦其當時ハ臨時急施ト認メザリシモノ、如シ其レ然リ而シテ該訓令ヲ奉シテ巡查ヲ新募スルニ當リテ臨時縣會ヲ開設シ得ヘキ餘日アルニ拘ハラズ當通常

會ニ至リテ之ヲ臨時急施ト認メタリト云フモ其處置急施ニ出テサレハ言行反對ノ辯明ニシテ寧ロ臨時急施ト認メタルニ非スシテ府縣會規則第三十七條ノ末段ヲ誤用シタルヲ證スヘシ嗚呼之カ説明書ヲ觀レハ一モ臨時急施ノ性質ナク之カ處置ヲ察スレハ頗ル緩慢ニシテ毫モ急施ノ手續ヲ爲サズ夫レ如斯クニシテ猶ホ且ツ臨時急施ヲ要スル事由アリトシ府縣會規則第三十七條ノ末段ヲ適用スヘシトモハ地方百般ノ事一トシテ臨時急施ヲ要スル事ニ非サルハナク遂ニ同規則第一條第二條ノ如キハ徒法ニ歸スヘキナリ

又縣知事ハ僅々二千有餘圓ノ費額ニ對シ一々臨時縣會ヲ開クハ經濟上不都合ナリト云フモ索ヨリ費額ノ多少經濟ノ便否ヲ以テ府縣會規則第三十七條ヲ適用スヘキ理由トナスニ足ラサルヲ明白ナレハ本會ハ此説明ニ對シ敢テ辯論ヲ費サハヘシ

且夫レ法律ノ原則ヨリ考察ヲ下スモ凡ソ取除法ナルモノハ或ハ純理ニ悖ルモノアルモ不得止ノ必要アリテ初メテ之ヲ設クルモノナレハ其文義ヲ狹少ニ解セサル可ラストハ蓋シ法律ヲ解釋スルノ原則ナリトス今府縣會規則ヲ按スルニ第一條ハ府縣會ノ性質及

權限ヲ規定セシモノニシテ府縣會ノ通法ナリト雖モ其第三十七條末段ノ如キハ事業ニ急施ノ必要アリテ臨時會ヲ開設スル猶豫ナキ場合ニ際シ理事者ニ於テ不得止臨時處置ヲ爲ス所謂取除法ナレハ固ヨリ其文義ヲ狹少ニ解セサル可ラストハ故ニ臨時急施ヲ要スル事業トハ譬ヘハ天災地變ニ際シ一日モ忽諸ヲ付ス可ラスト等ヲ云フモノニシテ苟クモ府縣會規則第二條ニ依リ臨時縣會ヲ開設スルノ曠日アル場合ニ於テ該則第三十七條ヲ適用スルハ法理ノ許サル所ナリ夫レ然ルニ縣知事ハ性質上不急ナル明治十九年度地方稅支出追加豫算ナル警察費並警察廳舍建築修繕費議案ニ對シ該則第三十七條末段即チ府縣會規則ノ取除法ヲ適用セシハ彼ノ取除法ナルモノハ其文義ヲ狹少ニ解セサル可ラストノ原理ニ反キタルモノナレハ法律上爲シ能ハサル事柄ナリトス以上陳述セシ理由ナルニ拘ハラズ本縣知事ハ明治十九年五月六日府縣會規則第三十七條ノ末段ニ準據シ明治十九年度地方稅支出追加豫算ナル警察費並警察廳舍建築修繕費ノ議案ヲ常置委員會ニ下付シタルハ同則第三十七條末段ヲ誤解スルノ最モ甚シキモノナリ是レ本會カ本縣知事ト法律ノ見解ヲ異ニシ貴局ノ裁定ヲ仰ク第一要點ナリ

○裁定

又本縣知事ハ府縣會規則第三十七條ヲ誤解シテ之カ適用ヲ誤リ其權限内ニ於テ爲シ得ヘカラサル所ノ委員會ニ付スルニ警察費及警察廳舎建築修繕費ノ議案ヲ以テシ該費用金二千二百五十九圓四十四錢五厘ノ豫算及其徵收方法ヲ議定セシメ無効ノ決議ニ依リ之ヲ決行シタルハ正シク府縣會規則第一條ニ府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及其徵收方法ヲ議定ストアル明文ニ背キ即チ本會ノ決議ヲ經スシテ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及其徵收方法ヲ決行シ縣會ノ議權ヲ犯シタルモノナリ是レ本會カ本縣知事ト權限ヲ爭ヒ貴局ニ裁定ヲ仰ク第二要點ナリ

縣知事ノ答辨

本縣縣會ニ於テ警察費及警察廳舎建築修繕費議決事件ニ關シ法律ノ見解ヲ異ニシ且議權ヲ侵シタリト唱ヘ府縣會規則第九條ニ依リ政府ノ裁定ヲ仰クノ要領ハ本官カ明治十九年五月ニ於テ明治十九年度地方稅中警察費及警察廳舎建築修繕費豫算追加議案ヲ發シ常置委員會ヲ開キ之ヲ議決セシメタルニ由レリ

抑本官カ府縣會規則第三十七條ノ末項ニ據リ常置委員會ニ下付シ議決セシメタル追加

豫算ノ議案タルヤ明治十九年四月主務大臣ノ訓令即チ自今新タニ召募スル巡查ハ警察ノ實務ニ就カシムル前ニ於テ警察ノ要領ヲ訓練セシムヘシ云々トアルニ基キ教習所設置ニ係ル費用ノ豫算及其徵收方法ナリ而シテ之ヲ急施ト認メタル理由ハ當時ニ在リテハ本縣巡查定員六百四十四名ニシテ其中五十四名ノ缺員アルニ際シ大阪府ヲ始メ近隣地方ニ虎列刺病蔓延ノ兆アリ本縣ノ如キハ海陸交通ノ頻繁ナル地方ニシテ今方サニ該病侵襲ノ危險前途ニ迫リ最モ警察ノ力必須ノ秋タリ而モ後ヘニ巡查ノ缺員アリ之ヲ補ハントスルヤ先ツ教習所ヲ設置シ教習巡查ヲ召募セサルヘカラス危險前ニ在リ缺員後ヘニアリ之レ本官カ教習所ヲ設置シ巡查ヲ教習シ其職ニ就カシムルノ急務ナルヲ以テ府縣會規則第三十七條ノ末項ヲ適用シ常置委員會ヲ開キ本費ヲ決議セシメタル所以ナリ然ルニ縣會ハ本官カ處置ヲ不當トシ裁定ヲ仰クノ要旨タルヤ第一巡查教習所設置ノ如キハ急施ヲ要スルノ事業ニアラス故ニ府縣會規則第三十七條ニ據リ常置委員會ヲ開キ該議案ヲ下付セシハ規則第三十七條ノ末項ヲ誤解セシモノナリトシ其第二ハ本官カ權限内ニ於テ爲シ得ヘカラサル所ノ常置委員會ニ付スルニ警察費及警察廳舎建築修繕費

○裁定

ノ議案ヲ以テシ該費用金二千有餘圓ノ豫算及其徵收方法ヲ議決セシメ無効ノ決議ニ依  
 リ之ヲ決行シタルハ正ク府縣會規則第一條ノ明文ニ背キ即チ縣會ノ決議ヲ經スシテ地  
 方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及徵收方法ヲ決行シタルハ本官カ縣會ノ議權ヲ侵シ  
 タルモノナリト云フニアリ  
 然リト雖モ本官カ府縣會規則第三十七條ヲ適用シタルハ前陳ノ如キ場合ニシテ教習所  
 ノ設置ヲ急施ト信認セシモノナリ  
 蓋シ府縣會規則第三十七條末項ノ成文タルヤ常置委員ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業  
 ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ決議シ追テ府縣會ニ  
 報告スルヲ得トアリ由是觀之常置委員ハ法律上上文ノ職權ヲ有スルモノナリ又府縣會  
 規則第三十七條末項ノ臨時急施ト否トチ判別スルハ府縣知事カ認定スル所ニシテ而カ  
 モ法律上職權ヲ有スル常置委員會ニ於テモ急施ト認メ決議シタルヲ以テ見ルモ決シテ  
 本官カ府縣會規則第三十七條ノ末項ヲ誤解シタルモノニアラサルナリ故ニ豈此議決ヲ  
 以テ無効ナリト云ヒ本官カ議權ヲ侵セシモノナリト云フヲ得ンヤ却テ之レ縣會カ法律

二附一は

ヲ誤解セシモノナリ  
 又假ニ本官カ法律ノ見解ヲ誤リ且縣會ノ議權ヲ侵ス等ノコアリトセハ議會カ自カラ公  
 選セシ代表者タル常置委員會ニ於テ之ヲ拒ムヘキ當然ナルニ既ニ常置委員會ハ審議ノ  
 末議決ヲ爲シタリ之レ則チ正當ノ手續ヲ履行セシモノニテ議會ノ云フ如ク縣會ノ議  
 決ヲ經スシテ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及徵收方法ヲ決行シ議權ヲ侵シタリ  
 ト云ノ理アラシヤ適々縣會ハ常置委員ト見解ヲ異ニスルニ過キササルノミ且况ヤ上文ニ  
 述タル如ク急不急ヲ判別スルハ本官ノ職權ニ存スルニ於テチヤ於是決シテ議會ト法律  
 ノ見解ヲ異ニシ又權限ヲ犯シタルモノニモアラサルハ信シテ疑ハサル所ナリ故ニ本官  
 ハ府縣會規則第九條ニ據リ政府ノ裁定ヲ仰クヘキ限リニアラスト信認セリ

審明

本件縣知事ト縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭フト謂フノ要點ハ縣知事カ  
 明治十九年度地方稅追加豫算警察費及警察廳舍建築修繕費ヲ府縣會規則第三十七條第二  
 項ニ據リ常置委員會ノ議決ニ付シタルハ法律ニ抵觸シタルモノナルヤ否ニ在リ依テ之ヲ

○裁定

審案スルニ縣會ハ縣知事カ該議案ノ如キ不急ナル性質ノモノヲ府縣會規則第三十七條第二項ニ據リ常置委員ノ議決ニ付シタルハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノナリ其之ヲ縣會ニ付セテ常置委員會ノ議決ニ依テ施行シタルハ縣會ノ議權ヲ犯シタルモノナリト謂フト雖モ府縣會規則第三十七條第二項ハ地方稅ヲ以テ支辨ス可キ事業ニシテ臨時急施ヲ必要トスル場合ニ適用ス可キモノトス而シテ其事業ノ急施ス可キト否トハ縣知事ノ裁量ニ存スルモノナレハ本件ノ如キ縣知事ニ於テ臨時急施ヲ必要ナリトシ常置委員會ノ議決ニ付シ之ヲ施行シタルハ縣會ノ議權ニ關係ナキモノトス要スルニ本件ハ行政事務上ノ急不急ヲ論スルモノニシテ法律ノ見解ヲ異ニシタルモノニアラス又權限ヲ爭フモノニアラサルナリ法制局ハ府縣知事ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フモノヲ裁定スル所ナリ然ルニ本件ハ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フモノニアラサルヲ以テ法制局ノ裁定ヲ請フ可キモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ法制局ニ於テ裁定ス可キ限ニアラス

明治二十年二月十二日

- 審理委員長 法制局長官 山尾庸三
- 審理委員 法制局參事官 馬屋原 彰
- 審理委員 法制局參事官 男谷忠友
- 審理委員 法制局參事官 廣瀬進一
- 審理委員 法制局參事官 長森敬斐
- 審理委員 法制局參事官 木下周一
- 審理委員 法制局參事官 岸本辰雄

第二百二十七 縣内施ス事件ニ係ル臨時會ノ件

- 岩手縣知事 石井省一郎
- 岩手縣會議長 上田農夫

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ縣知事カ縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フカ爲メ臨時會ヲ開キタル件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要

○裁定

領左ノ如シ

縣會ノ具狀

縣知事ハ議員ヲ召集シ十一月十四日ヲ以テ臨時縣會ヲ開キ獸醫學校維持法ヲ始メ都合八件ノ諮問ヲ發シタリ本會議テ之ヲ議スルニ當リ單ニ諮問ノミヲ以テ臨時縣會ヲ開クヘキモノニアラスト議決シ縣知事ニ向テ之ヲ具申シタリ而シテ縣知事ハ具申之趣書記官ヲシテ演達セシムト指令シ尋テ書記官加藤治幹臨場演達シタル要領ヲ舉レハ府縣會規則第八條ニ府縣會ハ府知事縣令ヨリ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フコトアルトキハ之ヲ議ストアリ第二條ニ府縣會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ別チ其定期ニ於テ開ク者ヲ通常會トナシ臨時ニ開ク者ヲ臨時會トナストアリ又第三十二條ニ通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキ府知事縣令ハ臨時會ヲ開クコトヲ得トアルヲ以テ諮問ノ爲メ議員ヲ召集シ臨時會ヲ開キ得ルモノト縣知事ハ之ヲ解釋シタリト陳辨セリ

本會議決ノ要領ハ府縣會規則第一條ニ府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及

ヒ其徵收方法ヲ議定ストアルヲ以テ府縣會ナルモノハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定センカ爲メ初メテ之ヲ開キ得ルモノニシテ其他如何ナル場合ニ於テモ得テ開會スヘキモノニアラスト解釋セリ又第八條ノ府縣會ハ府知事縣令ヨリ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フコトアルトキハ之ヲ議ストアルハ即チ第一條ニ定メテレタル地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定センカ爲メ府縣會開會中府知事縣令カ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問ハントズルトキハ會議ハ之ヲ議スト云フノ猶豫ヲ與ヘラレタルモノニシテ府知事縣令ハ第一條ノ議定權アル會議ノ外ニ於テ單ニ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問ハンカ爲メ特ニ臨時縣會ヲ開クト云フ法律ノ精神ニアラサルヘシト解釋セリ第四條ニ臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルヲ得ストアルハ臨時府縣會ハ府知事縣令カ其會議ニ發シタル議案以外ノ事件ヲ議スルヲ得サルヲ示サレタル條項ニシテ其特ニ會議ヲ要スル事件トハ猶ホ第一條ノ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スヘキ議決權アル議案ヲ指シタルニ外ナラサルモノト解

○裁定

釋セリ又第三十二條ノ通常會期ノ外會議ニ付スヘキ事件アルトキ府知事縣令ハ臨時會ヲ開クコトヲ得トアル其事件モ亦議定ノ効力アル議案ヲ指稱シタルモノニシテ議定ノ權利ナキ諮問ヲ要スルノミチヲ以テ臨時縣會ヲ開クヲ得ルノ法理ニアラサルモノト解釋セリ以上ノ理由ナルヲ以テ地方稅ヨリ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スヘキ臨時必要ノ事件アルニアラスシテ單ニ諮問ヲ要スルノミチヲ以テ特ニ臨時縣會ヲ開キタルハ縣知事カ法律ノ見解ヲ異ニシタルモノト認メタリ

縣知事ノ答辨

府縣會規則第八條ニ依リ十一月十四日臨時縣會ヲ召集シ獸醫學校維持法外七件ヲ諮問セシニ縣會ハ其具狀書ニ縷述セルカ如ク單ニ諮問ノミチヲ以テ臨時縣會ヲ開クヲ得サルモノト議決セリ然レモ府縣會規則第八條ニ府知事縣令ハ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フコトアルトキハ之ヲ議ストアリテ其孰レノ會議ニ諮問スルヤ否ヲ規定セサルヲ以テ通常會若クハ他ノ事件ヲ議定スル臨時會ニ諮問スルト特ニ臨時會ヲ開キ諮問スルトハ一ニ府縣知事ノ權内ニ屬シ縣會ノ解釋セル如ク必ズシモ地方稅ノ收

支ヲ議定スル會議ニ隨伴セズハ諮問スルヲ得サルニ非サルナリ縣會ハ又第四條特ニ會議ヲ要スル事件トハ尙ホ第一條ノ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スヘキ議決權アル議案ヲ指シタルニ外ナラス第三十二條モ亦議決ノ權利ナキ諮問ヲ要スルカ爲メ臨時縣會ヲ開クヘシトノ法理ニアラスト云フト雖モ第四條ニ其特ニ會議ヲ要スル事件云々トハ臨時會ハ發付議案ノ外ニ涉リ議スルヲ得サルノ主意ニシテ同條及第三十二條ノ臨時會ハ議定ト諮問ノ區別ニ關係ナク有セサルモノナリ故ニ府縣知事ハ該府縣内ニ施行スヘキ事件アルニ方リテハ府縣會規則第八條及第三十二條ヲ適用シ何時ニテモ特ニ臨時縣會ヲ開キ其施設方法ヲ諮問スルハ毫モ法律ニ反スル處置ニアラスト信認セリ况ンヤ今回發付セシ諮問案ノ如キハ事多クハ創設ニ係ルヲ以テ豫メ會議ノ意見ヲ諮問シ以テ其施行順序ヲ鄭重ニスルノ趣旨ナルニ於テオヤ

審明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニスルノ要點ハ縣知事ハ地方稅ヨリ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スヘキ事件アルニアラスシテ單ニ諮問ヲ要スルノ故ヲ以テ

○裁定



臨時會ヲ開シコトヲ得ルヤ否ニ在リ依テ之ヲ審議スルニ縣會ハ府縣會ナル者ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定スルノ外如何ナル場合ニ於テモ開會スヘキモノニ非ス故ニ縣知事カ府縣會規則第八條ニ依リ議會ノ意見ヲ問フカ爲メ縣會開會中ニ於テモ特ニ臨時會ヲ開キタルハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノナリト謂フト雖モ抑府縣會規則第四條ニ特ニ會議ヲ要スル事件及ヒ第三十二條ニ會議ニ付スヘキ事件トアルハ地方稅ノ收支ニ關スル事件ノ外府縣知事ノ諮問スル事件ヲ含ムモノトス又同規則第八條府縣知事カ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フヲ得ル場合ハ單ニ地方稅ノ收支ニ關スル會議中ニ限リタルモノニ非ス故ニ今回縣知事カ獸醫學校維持法外七件ヲ縣内ニ施行セントスルニ方リ府縣會規則第八條ニ依リ會議ノ意見ヲ問フカ爲メ第三十二條ニ依リ特ニ臨時會ヲ開キタルハ法律ニ背反シタル處置ニアラサルモノトス

判決

右ノ理由ニ依リ縣知事カ獸醫學校維持法外七件ヲ縣内ニ施行スルニ方リ議會ノ意見ヲ問フカ爲メ臨時會ヲ開キタルハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノニアラス

明治二十年十二月三日

- |       |         |       |
|-------|---------|-------|
| 審理委員長 | 法制局長官子爵 | 山尾庸三  |
| 審理委員  | 法制局參事官  | 岩崎小二郎 |
| 審理委員  | 法制局參事官  | 曾禰荒助  |
| 審理委員  | 法制局參事官  | 山脇立   |
| 審理委員  | 法制局參事官  | 小池靖一  |
| 審理委員  | 法制局參事官  | 蒲生仙   |
| 審理委員  | 法制局參事官  | 中根重一  |

現行 日本法律規則大全附錄第二 畢

明治二十一年四月十五日印刷  
同 年同月廿一日出版

定價金壹圓

發行者

大阪府東區本町四丁目五十九番地  
岡島真七

編纂者

大阪府東區平野町二丁目廿番地  
岐阜縣土族  
高木周次

印刷者

大阪府東區南久寶寺町四丁目九番地  
岡島幸次郎

東 京 賣 捌 書 肆

日本橋通壹丁目  
同 通二丁目  
同 通壹丁目  
同 通三丁目  
銀座四丁目  
日本橋西川岸  
横山町三丁目  
馬喰町貳丁目  
神田通新石町  
南傳馬町壹丁目  
大門通元大坂町  
京橋區南紺屋町  
本町四丁目  
日本橋通四丁目  
三十間堀壹丁目  
日本橋區橋町  
南傳馬町三丁目  
神田淡路町  
木挽町壹丁目  
日本橋長谷川町

北畠茂兵衛  
稻田佐兵衛  
大倉孫兵衛  
丸善書  
博原鐵  
須岡屋文  
辻川兵衛  
石田仙七  
福田半七  
吉川右衛門  
小川喜右衛門  
神戶甲子二  
杉本七郎  
春陽堂  
九聲堂  
鶴成堂  
松字堂  
萬泉社  
榮泉社

西 京 賣 捌 書 肆

東洞院三條上ル  
河原町二條下ル  
寺町通二條下ル  
同所  
寺町通御池下ル  
寺町通三條上ル  
同町  
同町  
三條通寺町東入  
御寺町御池下ル  
三條通寺町西入  
三條通御幸町角  
三條通富小路東入  
寺町通四條上ル  
寺町通四條下ル  
寺町通松原下ル  
佛光寺烏丸東入  
五條高倉西入  
西六條花屋町

村上黑屋書兵衛  
大原支店  
梅合卯之助  
河合木惣四郎  
佐々木幾之助  
清水幾之助  
細川清文  
竹岡文清  
福井源次郎  
山中源次郎  
藤井孫兵衛  
山本甚兵衛  
大谷勤兵衛  
須磨勤兵衛  
田中勤兵衛  
川勝德次郎  
内山吉兵衛  
東山吉兵衛  
小笠原彦太衛門  
永田長左衛門

各 縣 賣 捌 書 肆

尾州名古屋木町  
同 本町三丁目  
同 本町二丁目  
同 本町七丁目  
同 鉄砲町二丁目  
同 稻置  
信州長野善光寺  
信州松本本町二  
三州豐橋吳服町  
駿州静岡江川町  
加州金澤上堤町  
同 片町  
同 小松京町  
甲州甲府常盤町  
越前福井錦上町  
同 照手上町  
勢州津大門町  
同 松坂日野町  
同 山田八日市町  
同 四日市南町

片野東代助  
川瀬版三郎  
石坂治三郎  
小橋平左衛門  
市橋左衛門  
高橋甚左衛門  
高須廣  
廣田太三郎  
近田智三郎  
益都宮源  
宇都宮源  
内藤傳右衛門  
溝江八男  
岡崎左喜衛門  
川島九右衛門  
中西嘉衛門  
有文嘉衛門  
伊藤善太郎

各 縣 賣 捌 書 肆

澁州大垣岐島町  
同 岐阜米屋町  
江州大津丸屋町  
同 大津升屋町  
同 大津京町五丁目  
同 大津京町二丁目  
同 彦根土橋町  
同 彦根西内大工町  
同 長濱御堂前  
同 八幡新町三丁目  
和歌山本町三丁目  
同 小野町三丁目  
同 東長町五丁目  
泉州堺神明町  
同 甲斐町東二丁  
同 岸和田北町  
同 攝津茨木  
同 西ノ宮久保町  
同 神戸元町五丁目  
但馬豐岡香田町

岡浦安源助  
三浦宗儀次  
澤川伊儀次  
廣田七治二  
田中藤伍治  
中村文幣  
大井内文幣  
野田大左衛門  
瀨戶吉左衛門  
鈴木久三  
鈴木久三  
本庄治三  
吉田治三  
橋本治三  
吉田治三  
船橋元三  
由利安

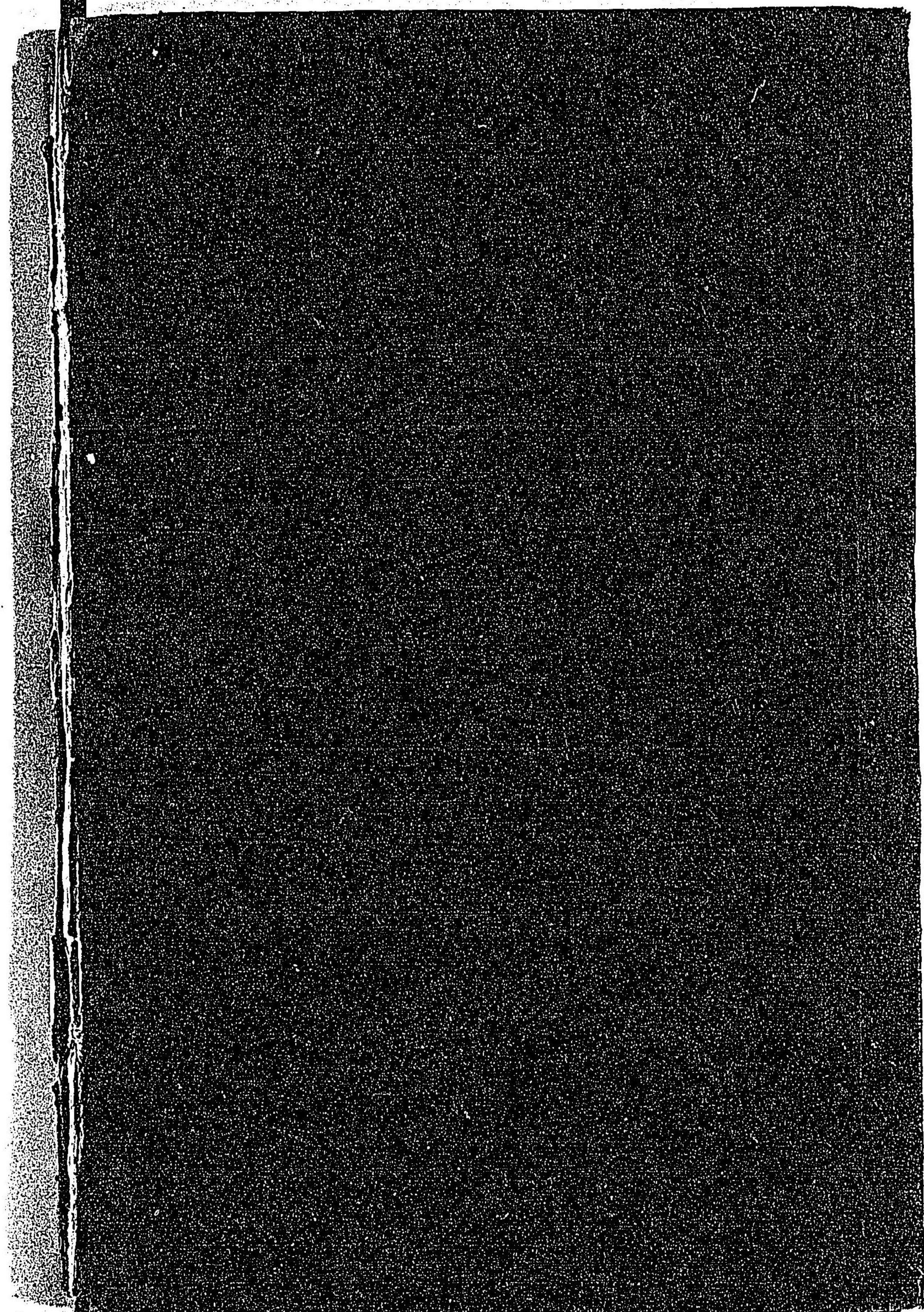
各縣賣捌書肆

同 米田町	同 豐田郡觀音村	伊豫松山溪町	同 宇和島本町	備前岡山仲之町	備後尾ノ道土堂町	蔡州廣島橫町	防州三田尻	同 山口中市町	同 大市町	同 中市町	長門豐浦中濱町	同 萩瓦町	同 馬關赤間町	肥州長崎酒屋町	同 佐賀新馬場	肥後熊本新二丁目	鹿兒島十日市町
山野長輔	本庄又輔	龜友國	安藤新治	上田長太	森田禎兵衛	三木善兵衛	西村虎之	宮川貴臣	松原三三	白石德三	村谷傳三	松原喜兵衛	西尾三商	安中半三	書籍會	長崎次郎	吉田幸兵衛

大阪賣捌書肆

心齋橋南二丁目	同北詰北入	同安堂寺町南入	同安堂寺町南入	同順慶町南入	同順慶町北入	同博勞町南入	同博勞町角	同南久寶寺町北入	同北久寶寺町角	同北久太郎町北入	同唐物町北入	同本町北入	同安土町南入	同備後町角	同備後町北入	同備後町東入	高麗橋二丁目	長堀橋南詰南入	天神橋通松屋町
松村九兵衛	駿中右衛門	田中太三郎	青木恒三郎	免屋支店	此川村庄	岡田茂兵衛	前川善兵衛	三木善兵衛	柳原喜兵衛	岡本志仙	赤田忠七	鹿岡靜七	吉岡平七	梅原龜七	博聞分社	熊谷幸助	眞部武助	湯川孫兵衛	

14
9
23



14.7  
23

禁電子式複写

